

ホテル エミオン 東京ベイ

総合企画：スターツCAM株式会社 佐口竜也
 設計者：株式会社日本設計 小林利和、浅野一行
 施工者：前田建設工業株式会社 川述正和



建物外観(撮影：ホテル エミオン 東京ベイ)

建築概要

建設地：千葉県浦安市日の出3
 建築主：スターツホテル開発株式会社
 総合企画：スターツCAM株式会社
 設計：株式会社日本設計
 施工：前田建設工業株式会社
 竣工：2005年4月
 建築面積：4,292.25㎡ 延床面積：28,476.80㎡
 階数：地上24階、高さ：87.55m
 構造種別：RC造、SRC造 一部S造

選評

本建物は、宿泊特化型のアーバンリゾートホテルである。テーマパークに対峙した軸線を中心に扇形の平面を有し、波型のバルコニーと12種類に及ぶ多様な客室タイプは、リゾートホテルらしさを醸し出している。3階直下の設備トレンチ階を免震層とした、地上階中間層免震建物である。免震部材としては、天然ゴム系積層ゴム、直動転がり支承、ダンパー一体型の弾性すべり支承及びオイルダンパーがバランス良く配置されている。この結果、高さ87Mの建物を鉄筋コンクリート造で実現させ、発注者の期待する性能確保（住居並みの居住性、安全性、長寿命、高い耐震性と資産価値など）に応えている。また、当敷地は軟弱地盤でGL-14Mまで液状化層があるため、砂杭を用いた液状化対策を施し、GL-52.9Mの支持層まで鋼管巻場所打ちコンクリート杭としている。

免震エキスパンションの建築的納まりの工夫もある。床石張りの跳ね上げ式、床塩ビシート張り呑み込み式や天井の跳ね上げ式などディテールが綺麗に納められている。

免震構造に不利な液状化地盤を克服し、免震技術を駆使して、扇状の不整形な平面を持つRC高層ホテルを実現させており、免震構造の特質を反映させた作品として作品賞に相応しい建物である。（村井義則）

免震化した経緯及び企画設計等

本建物は、千葉県浦安市に大型テーマパークのパートナーホテルとして建設された宿泊特化型アーバンリゾートホテルである。

建築主からは、高い安全性、ローコスト、住宅並みの遮音性・居住性、高い耐震性と不動産価値の向上の他、テーマパークを臨む多くのバルコニー付客室の確保などが要望として掲げられた。

免震構造の採用により、扇状の不整形な基準階平面に対しても、弾性範囲内の挙動でRC造による明快な構造計画が可能となり、かつ客室間に連層耐震壁やPCa穴あき床版を用いることで、躯体コストを縮減すると同時にホテルに求められた遮音性・居住性をはじめとする様々な性能を実現した。

技術の創意工夫、新規性及び強調すべき内容等

免震層は、高層客室階と1・2階共用部の境界に設けられる設備トレンチ階を利用した中間層免震で、コスト、工期、高さ寸法の有効利用にリーズナブルな計画としている。

また液状化地盤への対策は、砂杭による静的締固め工法で地盤を固め液状化対策を施し、かつ、この改良効果を設計用の模擬地震動に反映させている。

一方、軟弱地盤の周期特性と共振しない免震周期を得るため、弾性すべり支承や直動転がり支承を用いて、長周期化を図り、オイルダンパーにより応答変位を制御するハイブリッドな免震システムを構築している。

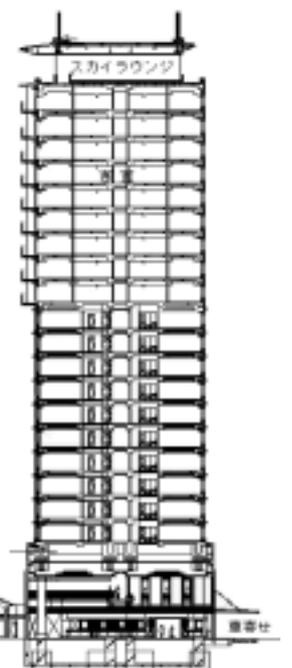
1・2階EVホールは、グリッドパターンを基調としたデザインにより免震エキスパンションジョイントが目立たぬ工夫をし、ホテルにおける意匠性と安全性の両立を図った。



中庭側ファサード



EVホール
 (撮影：小林研二写真事務所)



断面図